

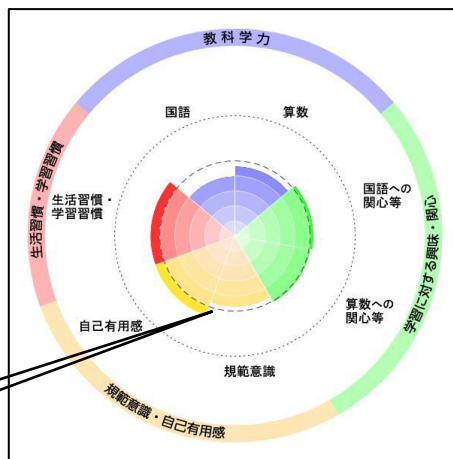
令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

令和5年4月18日に全国の小学校6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の各教科（国語・算数実施）に関する結果と児童の意識に関する結果の概要をお知らせします。

(1) 『教科別学習状況調査』の平均正答率(%)から

	国語	算数
本校	59	59
全国	67.2	62.5
神奈川県	66	63

全国平均



上のグラフは、本校の6年生の調査結果を全国の小学校6年生と比較したものです。「学習に対する興味・関心」「生活習慣・学習習慣」「規範意識や自己有用感」に関しては、全国平均を大幅に上回る結果となりました。反面、「教科学力」の結果に関しては、国語・算数ともに全国平均を下回る結果となりました。

(2) 全国正答率と比較した分析と今後の手立て

《国語》

- 目的に応じて資料から必要な情報を見付ける問題や、情報をどのように整理しているかを理解する問題では、全国平均を上回る結果となりました。
- 送り仮名に注意して漢字を文の中で正しく使う問題や、話の内容を捉えて自分の考えをまとめて書く問題の正答率が全国平均を下回りました。

文章や資料などから事実を読み取り、自分の意見を友達と交流し合う活動を大切にしています。その成果は表れていると思われます。反面、「文章を正しく書く」「考えをまとめて書く」力が課題として見えてきました。今後、ノート指導や週末の作文指導を通して、書く力の定着に努めていきます。

《算数》

- ()を用いた式や足し算や掛け算が混ざった式を場面と関連付けて読み取る問題や、割り算の筆算について図をもとに商の意味を考える問題では、全国平均を上回る結果となりました。
- 高さが等しい三角形について、その理由を言葉や数を用いて記述する問題や、比例の関係にある数の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述する問題の正答率が全国平均を下回りました。

朝のスキルタイムでスマイルネクストを活用して基礎・基本の学習に取り組んでいる成果が表れてきていると言えます。反面、求め方や理由を式や文で書き表す力に課題が見えてきました。今後、これまで以上に問題解決の課程を大切にしながら、それを表現できるような指導を心がけていきます。

《全体を通して》

「その教科の学習は好きですか」「学校へ行くのは楽しいですか」「地域の行事に参加していますか」といった質問で全国平均を大幅に上回る結果となりました。ご家庭や地域の方の協力もあり、子どもたちは友達や地域の中で学び合うことのよさを十分に感じることができていると考えます。反面、「読書は好きですか」という項目は全国平均を下回っていました。今後、読書タイムや日々の授業の中で読書をさらに充実させていくとともに、本校が重点的に取り組んでいる「誰もが考えやすい授業」を基盤にして、課題に向き合っていきたいと思えます。